資料 2－1

茨城町の自転車利用環境の現状

1．本町を取り巻く環境

(1)本町の特徴

●本町は，東京からおよそ 100km，茨城県のほぼ中央に位置し，北は県庁所在地である水戸市に隣接し，東は大洗町，南は鉾田市，小美玉市，西は笠間市に接している。

●町域は，東西に約 17km，南北に約 14km，面積は約 121.6km^2 となっており，町域の大半が標高 20m～30m 程度の台地上にあり，平坦な地形を形成しているほか，涸沼へと注ぐ涸沼川や涸沼前川，寛政川の 3 つの河川が町の中央部を流れ，河川の流域には田園が広がっている。

●北関東自動車道や東関東自動車道水戸線，国道 6 号が本町を通過し，常磐自動車道が本町の西方直近を通り，茨城空港も本町から南方に車で約 20 分の距離に位置しており，広域交通条件に恵まれた地域となっている。

●本町は，国指定遺跡である小幡北山埴輪製作遺跡が形成される等，縄文・弥生時代から人々が住みつき，農業に適した肥沃な土地と交通の要所として発展した。

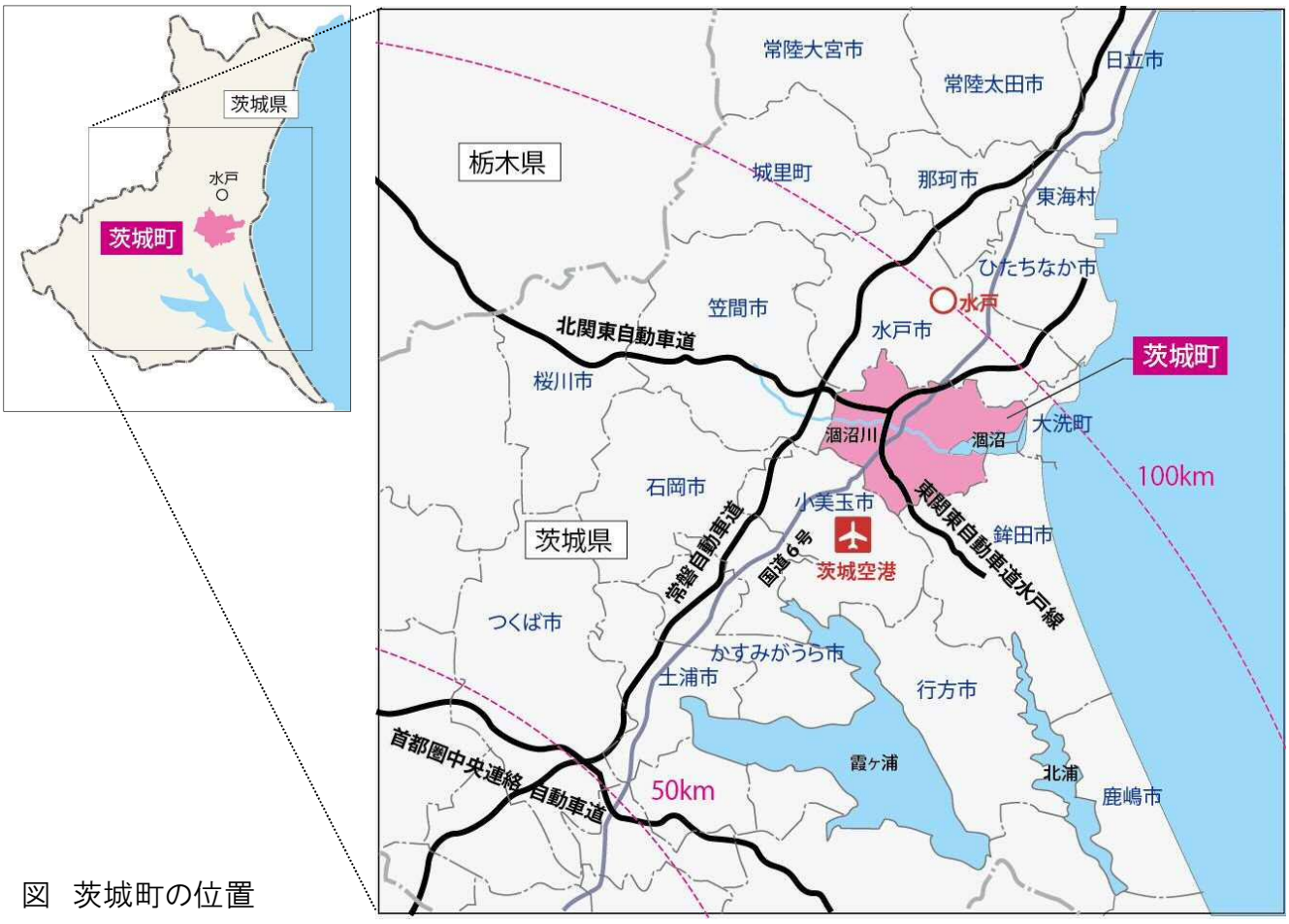


図　茨城町の位置

(2)人口･世帯数等

●平成27年の国勢調査の人口は32,921人で，平成7年をピークに減少傾向にある。一方，世帯数は11,356世帯(平成27年）で一貫して増加傾向にあり，平均世帯人員は2.90人(平成27年）で，核家族化や一人世帯が増加している。

＜人口･世帯数の推移＞

(単位:人)(世帯においては単位:世帯)

(資料)国勢調査(S60～H27)

●人口分布は，北部中央の市街化区域及びその周辺において人口が集中しており，地域別にみると長岡地域が最も多くなっているが，広く人口が分布している状況である。

＜人口分布＞

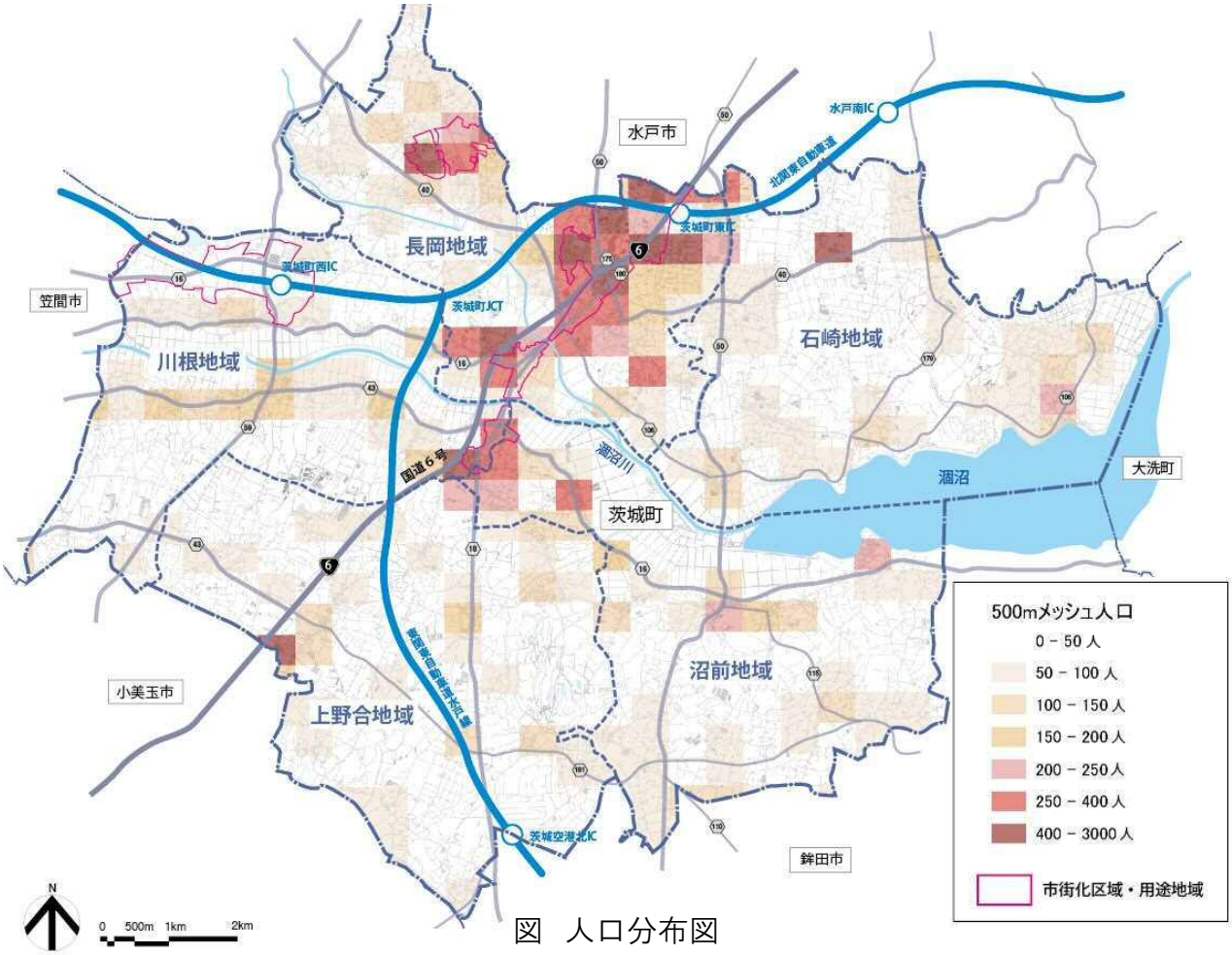


図　人口分布図

(資料)国勢調査(H27)

(3)生活行動

●平成 27 年の国勢調査による本町の近隣市町村の移動をみると，通勤・通学ともに流出数が流入数を上回っている。

●通勤・通学ともに水戸市が最も多く，通学においては水戸市への流出が多い。

＜通勤･通学の動向＞

流　入

（単位：人）

	全体	通勤	通学
茨城県	11,767	11,062	705
茨城町	4,490	4,083	407
水戸市	3,516	3,395	121
石岡市	263	244	19
笠間市	733	723	10
ひたちなか市	648	626	22
鉾田市	436	424	12
小美玉市	560	511	49
大洗町	163	161	2
その他県内市町村	958	895	63

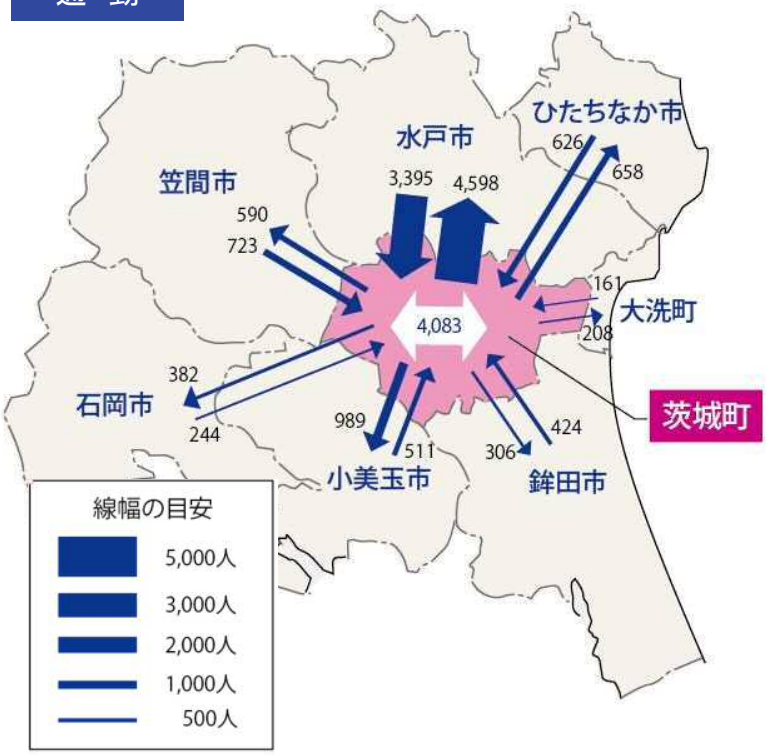
流　出

（単位：人）

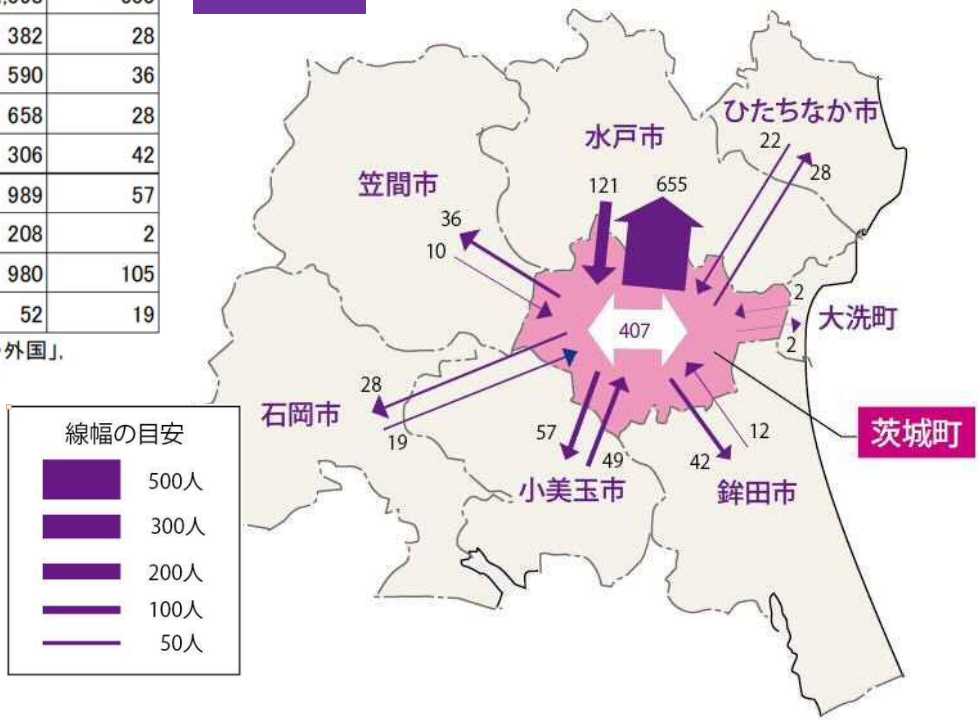
	全体	通勤	通学
茨城県	14,225	12,846	1,379
茨城町	4,490	4,083	407
水戸市	5,253	4,598	655
石岡市	410	382	28
笠間市	626	590	36
ひたちなか市	686	658	28
鉾田市	348	306	42
小美玉市	1,046	989	57
大洗町	210	208	2
その他県内市町村	1,085	980	105
その他 ※	71	52	19

※　その他は，従業･通学市区町村「不詳･外国」，従業地･通学地「不詳」

通　勤



通　学



（資料）国勢調査（H27）

(4)土地利用

- 農地・山林等の自然的土地利用が，町全域の約８割を占め，宅地や道路等の都市的土地利用が約２割となっている。
- 前田・長岡地区，茨城中央工業団地地区，桜の郷地区等に市街化区域が指定されている。
- 涸沼周辺が県立自然公園区域に，小幡城跡が緑地環境保全地域等に指定され，貴重な自然資源を守るための規制等がかかっている。

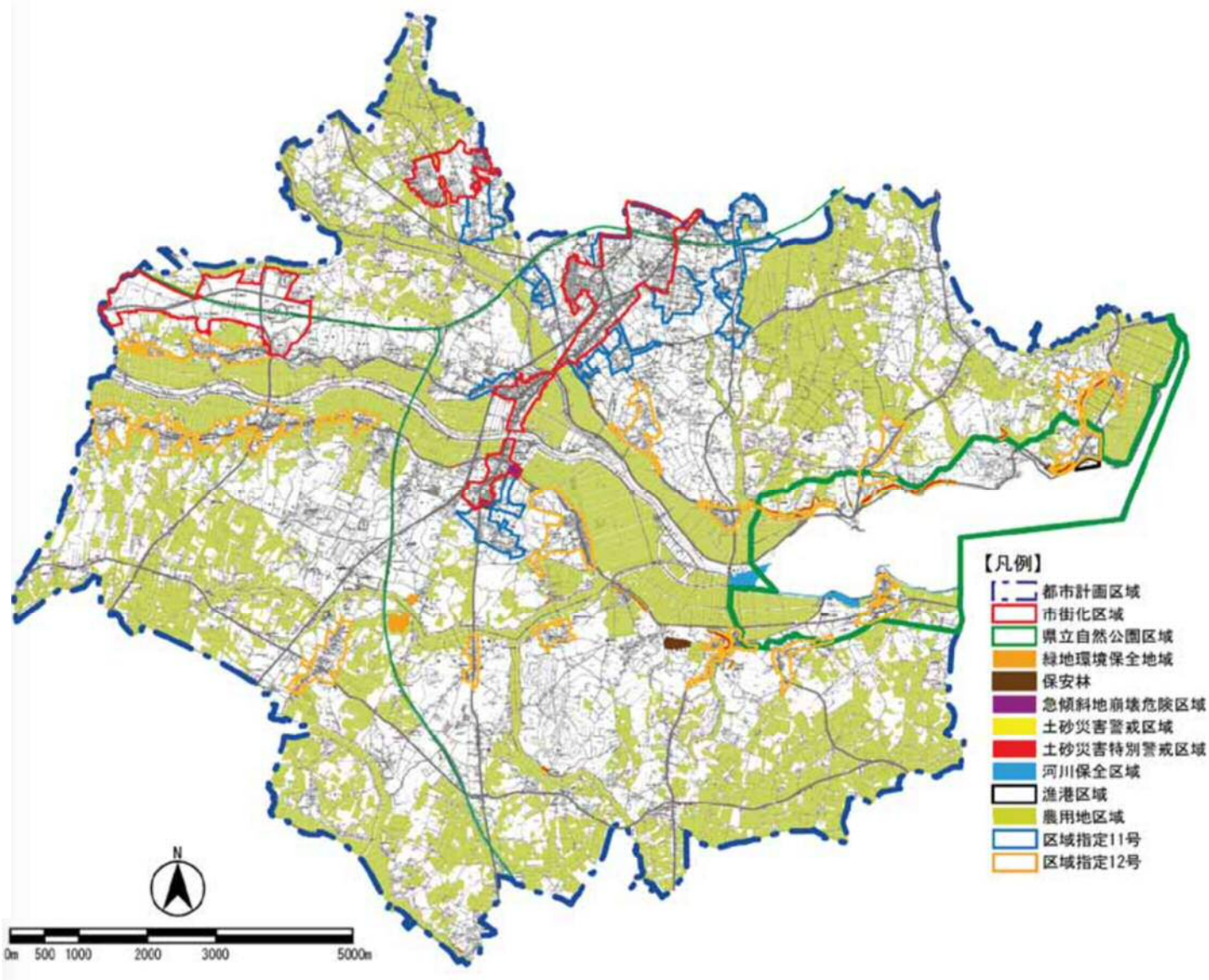


図　土地利用現況図

（出典）茨城町都市計画マスタープラン（H28）

(5)観光

●観光・交流資源として涸沼があり，湖畔には涸沼自然公園，親沢公園，広浦公園，網掛公園等が整備されている。

●ポケットファームどきどき等，数多くの農産物直売所，小幡城跡や小幡北山埴輪製作遺跡，木村家住宅等の史跡・名所がある。

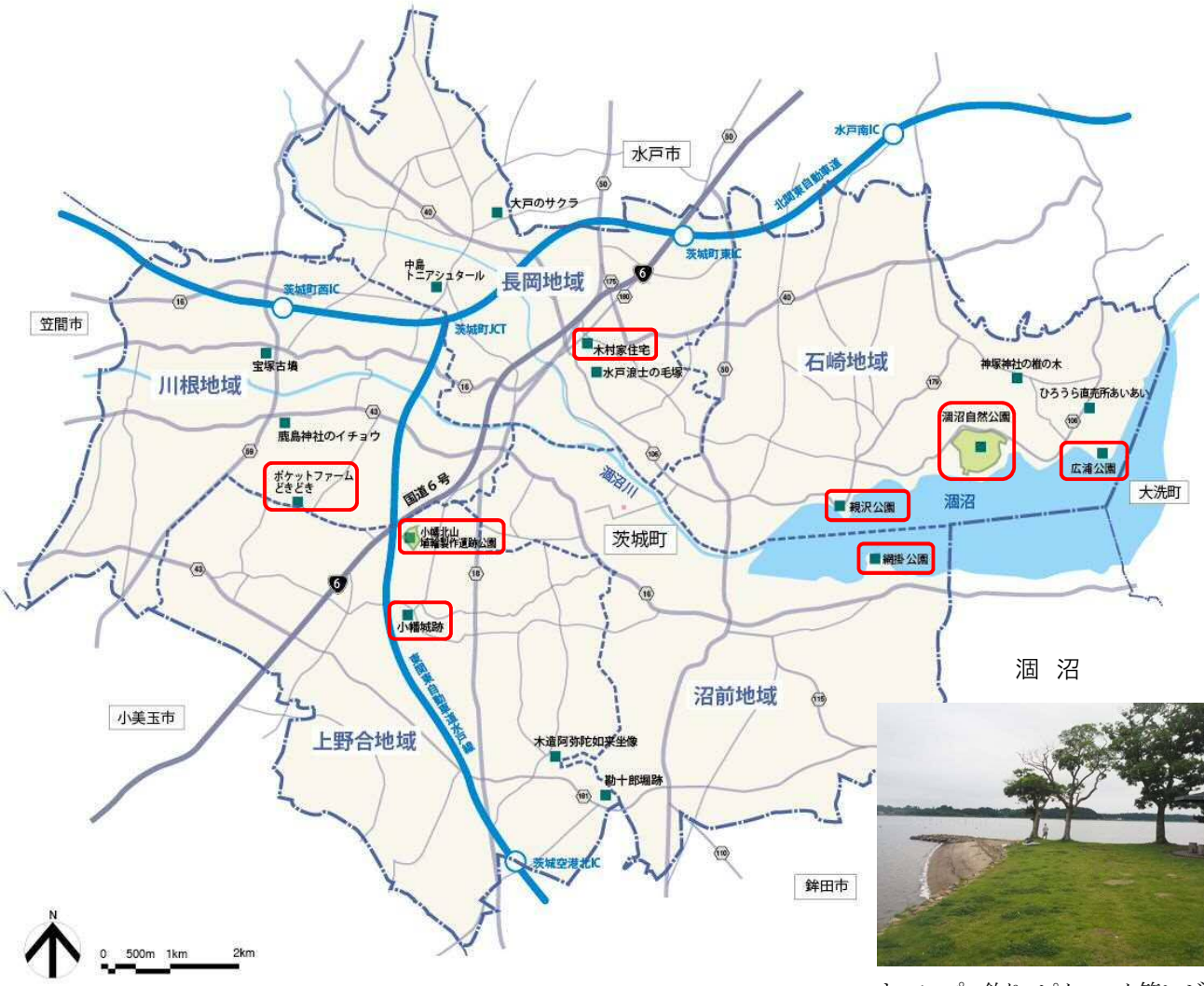


図　観光施設図

涸　沼

キャンプ，釣り，ピクニック等レジャー拠点ともなる代表的な観光資源

ポケットファームどきどき

集客力の大きな農業体験型のレジャー施設

小幡城跡

土地の起伏を利用した迷路のような空堀

涸沼自然公園

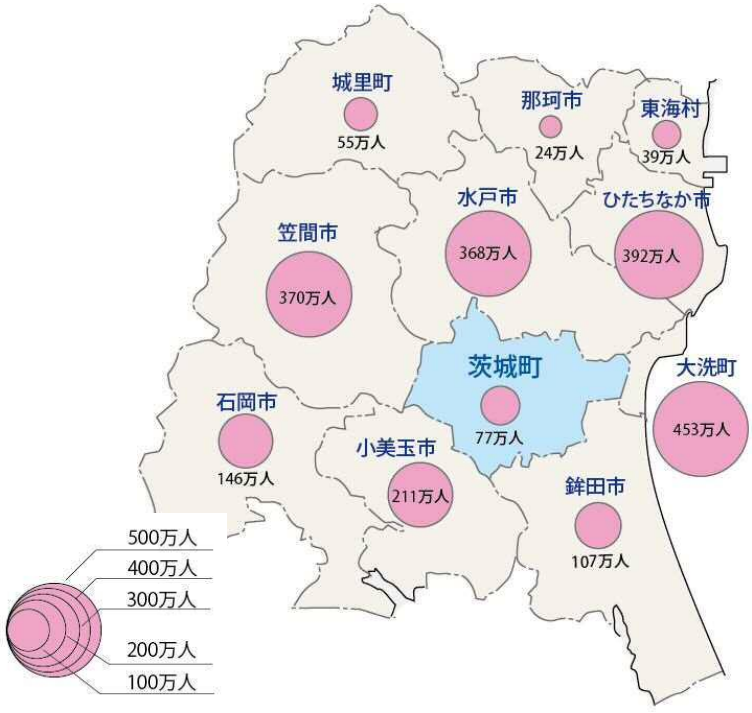
自然を身近に感じ，楽しむことができる広大な敷地の公園

●平成 30 年の観光入込客数をみると，茨城町は約 77 万人で，隣接する大洗町 453 万人，笠間市 370 万人，水戸市 368 万人，小美玉市 211 万人，鉾田市 107 万人，となっており，多くの観光客が本町を取り囲むエリアに訪れている。

＜近隣市町村の観光入込客数＞

（単位：人）

市町村名	入込客数（延べ人数）
水戸市	3,676,200
小美玉市	2,109,100
茨城町	769,200
大洗町	4,530,800
鉾田市	1,069,100
笠間市	3,704,400
城里町	549,400
ひたちなか市	3,921,600
那珂市	243,400
石岡市	1,456,300
東海村	394,200



（資料）茨城の観光レクリエーション現況（平成 30 年観光客動態調査報告）
茨城県営業戦略部観光物産課

●涸沼に関するホームページ（https://www.hinuma.ibaraki.jp）

「ラムサール条約登録湿地　涸沼」のホームページが茨城町，鉾田市，大洗町の３市町で構成されるラムサール条約登録湿地ひぬまの会によって公開されている。

涸沼の自然，観光・レジャー，ボランティア等の活動団体等の分類で構成され，自転車に関連するサイクリングコースやレンタサイクル（大洗町，鉾田市のみ），拠点情報等が横断的に提供されている。

（出典）ラムサール条約
登録湿地涸沼 HP

(6)道路･交通

●主な道路網は，北関東自動車道，東関東自動車道水戸線が通過するほか，国道６号が中央を南北に通過しており，主要地方道大洗友部線，茨城鹿島線，内原塩崎線，茨城岩間線，水戸神栖線，玉里水戸線６路線とその他一般県道８路線，及び本町の市街地や既存集落等の拠点間を連絡する幹線町道や住民にとっての身近な交通や防災機能を有している町道となっている。

図　道路現況

●本町の公共交通については，鉄道はなく，路線バスが運行しており，水戸東京間を結ぶ高速バスが，北関東自動車道（茨城町西 IC）を経由して運行している。
●路線バスは，関東鉄道株式会社，関鉄グリーンバス株式会社，茨城交通株式会社が運行しており，水戸駅及び赤塚駅から水戸医療センターを運行する路線や，水戸駅から役場方面を運行する路線が石岡，茨城空港，鉾田駅等を結んでいる。
●公共交通の空白地域について，交通弱者対策としてデマンド型乗合タクシーを運行している。

図　公共交通の状況

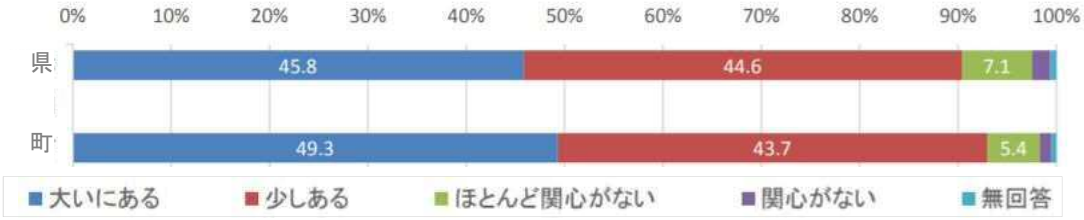
（資料）国土数値情報（国交省）

(7)健康

①健康意識

平成 27 年度県民健康実態調査によると，健康への関心は県平均より高く，「健康に関心が大いにある」割合は，49.3%である。

＜自分の健康に関心をもっているか＞



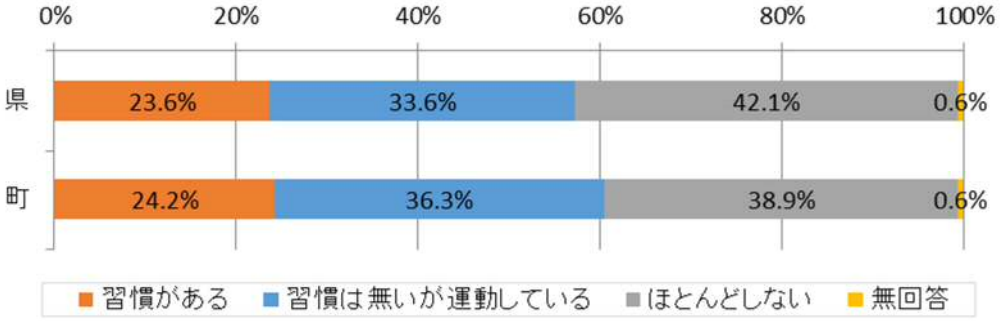
(出典)平成 27 年度県民健康実態調査

②運動習慣

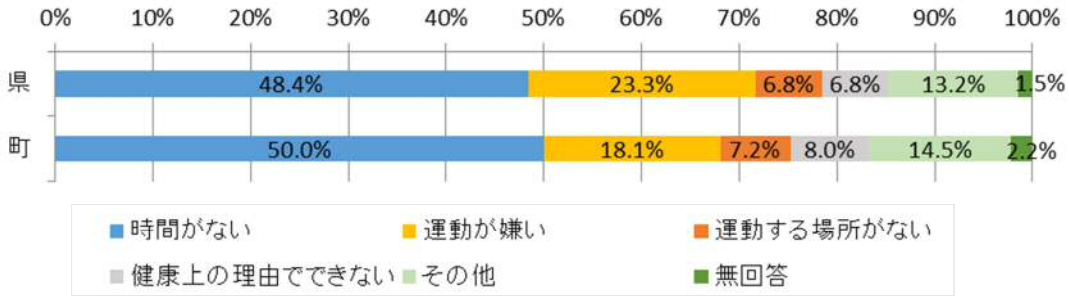
本町では，「運動をする習慣がある」人の割合が県平均と比べ高く，「運動をほとんどしない」人の割合が県平均と比べ低い。

運動をしない理由として，「時間がない」と「運動する場所がない」が県平均と比べ高い。

＜運動をする習慣があるか＞



＜運動しない理由＞



(資料)平成 27 年度県民健康実態調査 （茨城県）

2．自転車の利用状況

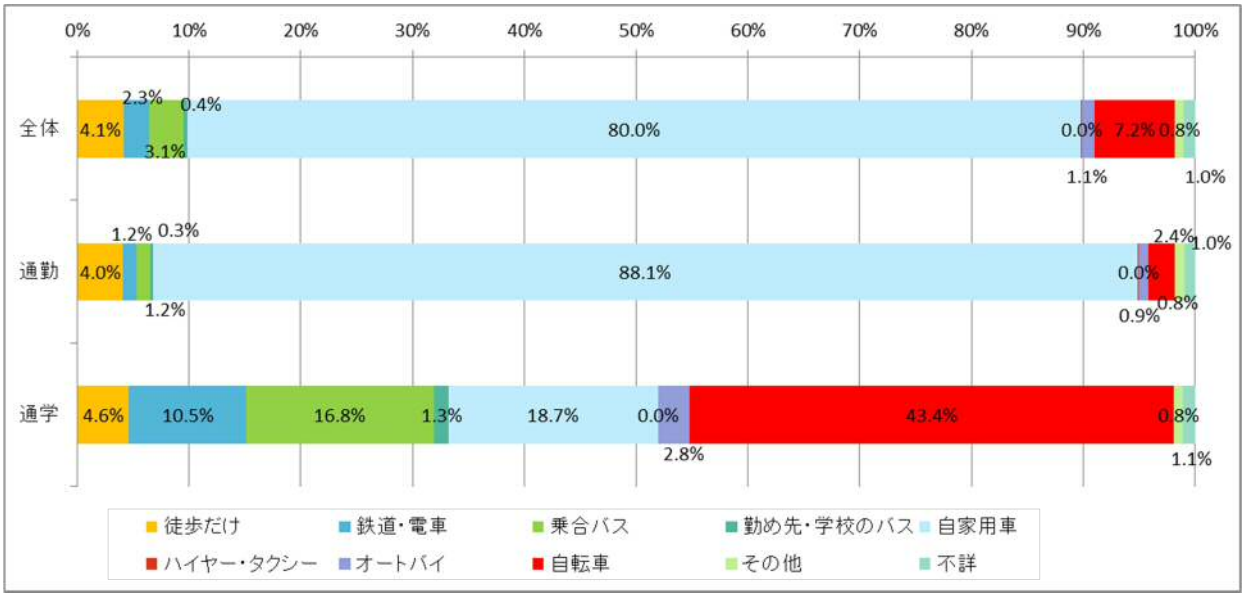
(1)自転車の交通分担率

●平成 22 年国勢調査における，利用交通手段（9 区分，男女別 15 歳以上自宅外就業者数及び通学者数）によると，茨城町の自転車の交通分担率は 7.2%であり，自動車の交通分担率が 80.0%と高い。

●通勤者の自転車分担率は 2.4%であり，通勤における自家用車の分担率（約 90%）と比較して非常に低い。

●町内 15 歳以上の通学者における自転車分担率は，43.4%を占めている。

＜通勤･通学別の交通分担率＞



（単位：人）

	徒歩だけ	鉄道･電車	乗合バス	勤め先･学校のバス	自家用車	ハイヤー･タクシー	オートバイ	自転車	その他	不詳	総数
全体	622	353	462	58	12,087	2	173	1,091	123	147	15,118
通勤	540	165	163	34	11,753	2	123	317	109	128	13,334
通学	82	188	299	24	334	－	50	774	14	19	1,784

（資料）国勢調査　小地域集計(H22)

(2)中学校の自転車分担率

●中学生の通学における自転車分担率をみると，青葉中学校で 86.7%，明光中学校で 93.8%となっており，中学生の多くが自転車通学をしている。

＜中学校ごとの自転車分担率＞　（令和2年5月 1 日時点）

	生徒数　（人）	自転車通学者数　（人）	自転車分担率　（%）
青葉中学校	286	248	86.7%
明光中学校	496	465	93.8%

(3)自転車駐輪場等

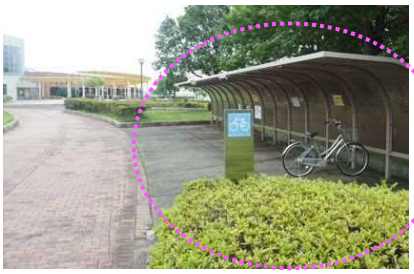
①自転車駐輪場

駐輪場は，庁舎，総合福祉センターゆうゆう館，茨城町運動公園等，主要な公共施設に設置されているが，設置されていない施設も多い。駐輪台数は庁舎 40 台の他は，設置に関する規定は特に定められていない。また，町内における駐輪場として，主に大型商業施設に設置されている状況である。

庁舎

町内事業者

総合福祉センターゆうゆう館



②サイクルラック

町内事業者と連携した施策として，町内 23 箇所にサイクルラックを設置している。サイクリストが観光や飲食のために気軽に立ち寄ることができる。

涸沼自然公園

町内事業者

(4)交通安全

①自転車関連事故発生状況

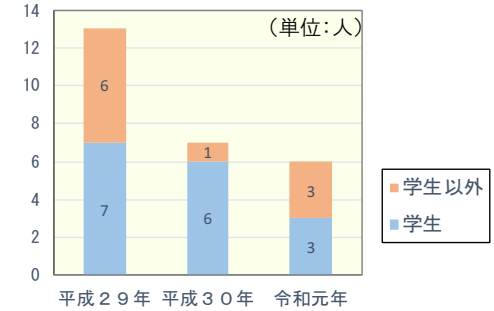
平成 29 年～令和元年の自転車関連事故をみると減少しており，死者はいない。

内訳をみると，学生（中学生，高校生）の割合が３箇年で６割強を占めている。

事故は，国道６号や沿線周辺の県道等，幹線道路で多く発生しているが，郊外の幹線道路上や交差点でも広く分布している。

＜茨城町の自転車事故発生場所の分布＞

＜事故件数の内訳＞



＜自転車事故の発生状況推移＞ （単位：人）

区分	死者	重傷者	軽傷者	計
平成29年	0	2	11	13
平成30年	0	3	4	7
令和元年	0	1	5	6
合計	0	6	20	26

＜学生の事故の内訳＞ （単位：人）

区分	高校生	中学生	学生合計※
平成29年	3	4	7 （54%）
平成30年	3	3	6 （86%）
令和元年	3	0	3 （50%）
合計	9	7	16 （62%）

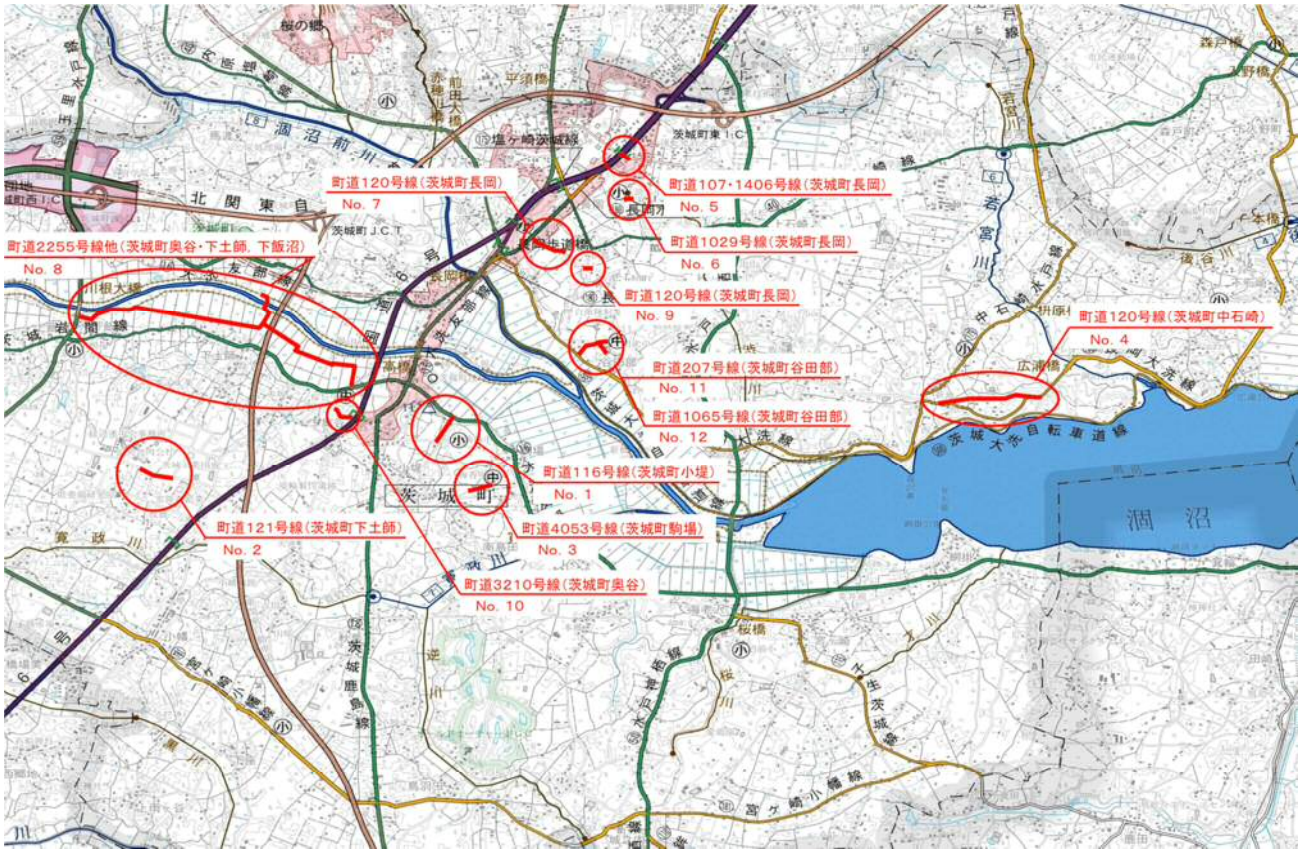
※ %表記は，各年度の自転車事故発生数のうち，中高生による事故の割合

（資料）自転車事故入手データ／交通事故発生マップ（茨城県警察）

②通学路安全プログラム

児童生徒の通学時における事故を防止するため，各小学校の通学路において関係機関と連携して緊急合同点検を実施，必要な対策の協議，安全確保に向けた取組を行うため「茨城町通学路安全プログラム」を策定している。

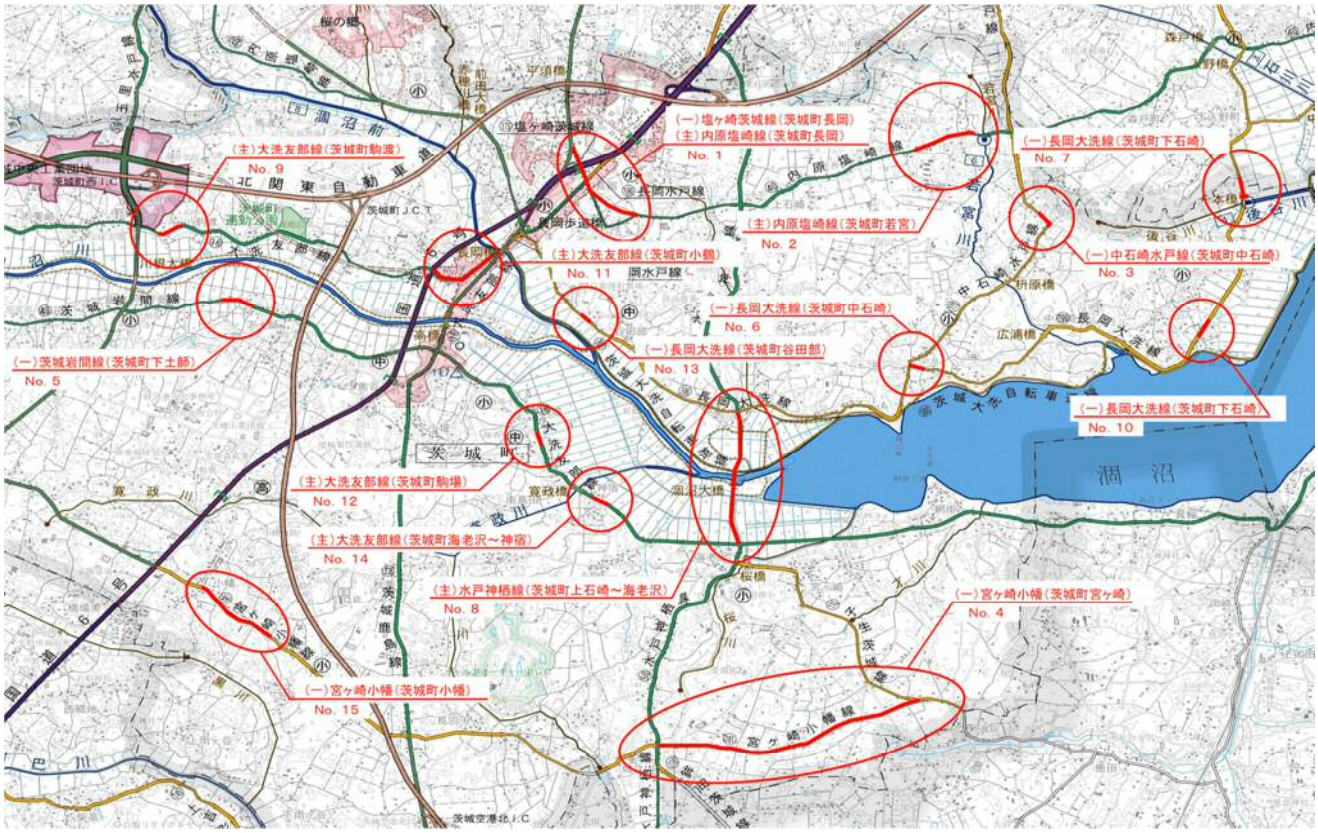
＜整備路線及び箇所(町道)＞



番号	路線名	箇所名・住所等	対策内容	事業主体	対応年度	現状・危険の内容等
1	町道116号線	小堤地内	歩道設置	茨城町	平成27～29年度	対策済み
2	町道121号線	下土師地内	歩道設置	茨城町	平成31年度	歩道の一部が未整備であるため歩道整備工事を行う
3	町道4053号線	駒場地内	歩道設置	茨城町	平成26～30年度	対策済み
4	町道120号線	中石崎地内	道路改良(バイパス)	茨城町	平成25年度～	隣接県道が狭隘なため安全に配慮した道路を新設する
5	町道107・1406号線	長岡地内	検討	茨城町		歩道が狭隘
6	町道1029号線	長岡地内	検討	茨城町		見通しが悪い
7	町道120号線	長岡・谷田部地内	路面表示	茨城町		歩道がなく危険であるためグリーン色の歩行帯の表示を行う
8	町道2255号線他	奥谷・下土師 下飯沼地内	防犯灯設置	茨城町	平成28年度～	日没時の安全の為、防犯灯を設置する 一部対策済み
9	町道120号線	長岡地内	検討	茨城町		見通しが悪い
10	町道3210号線	奥谷地内	検討	茨城町	平成30年度～	道路が狭隘なため危険
11	町道207号線	谷田部地内	歩道設置	茨城町		道路が狭隘なため危険
12	町道1065号線	谷田部地内	拡幅	茨城町		道路が狭隘なため危険

(出典)茨城町通学路安全プログラム(H28)

＜整備路線及び箇所（県道）＞



番号	路線名	箇所名・住所等	対策内容	事業主体	対応年度	現状・危険の内容
1	(一)塩ヶ崎茨城線 (主)内原塩崎線	長岡地内	歩道設置	茨城県	平成28年度～	未歩道区間
2	(主)内原塩崎線	若宮地内	歩道設置	茨城県	平成25年度～	未歩道区間
3	(一)中石崎水戸線	中石崎地内	歩道設置	茨城県	平成26年度～	未歩道区間
4	(一)宮ヶ崎小幡線	宮ヶ崎地内	歩道設置	茨城県	平成24年度～	未歩道区間
5	(一)茨城岩間線	下土師地内	歩道設置	茨城県	平成27年度～	未歩道区間
6	(一)長岡大洗線	中石崎地内	歩道設置	茨城県	平成28年度～	未歩道区間
7	(一)長岡大洗線	下石崎地内	歩道設置	茨城県	未着手	未歩道区間
8	(主)水戸神栖線	上石崎～ 海老沢地内	歩道設置	茨城県	平成28年度～	未歩道区間
9	(主)大洗友部線	駒渡地内	歩道設置	茨城県	平成28年度～	未歩道区間
10	(一)長岡大洗線	下石崎地内	路面標示の引き直し	茨城県	平成28年度	対策済み
11	(主)大洗友部線	小鶴地内	路面表示	茨城県	平成29年度	対策済み
12	(主)大洗友部線	駒場地内	歩道設置	茨城県	未着手	未歩道区間
13	(一)長岡大洗線	谷田部地内	路面標示新設	茨城県	平成28年度	対策済み
14	(主)大洗友部線	海老沢～神宿地内	歩道設置	茨城県	未着手	未歩道区間
15	(一)宮ヶ崎小幡線	小幡地内	拡幅	茨城県	未着手	歩道が狭隘

（出典）茨城町通学路安全プログラム（H28）

(5)環境整備

①サイクリングコースの提案

町内には，町の自然環境等を背景に，四季や光の移ろいを感じられるたくさんのビュースポットがあり，コースの中にも組み込まれている。また，お気に入りの場所を探す楽しみや，インスタグラムへの投稿の呼びかけも行っている。

のんびり気ままに楽しめる，涸沼湖畔をめぐるコースと史跡や里山をめぐるコースの２つコースが設定されている。

【ビュースポット】

一本の木（涸沼ビュースポット）

親沢公園（涸沼に面したキャンプ場）

②サイクルサポートスポットの設置

本町では，町内でのサイクリングを楽しんでもらうため，２つのモデルコースと町内の飲食店等の施設の協力を得て，23 箇所の「サイクルサポートスポット」と 10 箇所の「立ち寄りスポット」を設置している。

オフィシャルサイト「Go!Go!ファンライドイバラキマチ」を開設し，サイクリングガイドを配布する等，サイクリングに関する情報を提供している。

涸沼自然公園

「サイクルサポートスポット」は，「サイクルラック」「空気入れ」「工具」「トイレ」の貸出しのほか，雨宿りや休憩が可能となる。共通の青いのぼりが目印

おいしい&楽しいがいっぱいの「立ち寄りスポット」

（出典）茨城町「Go!Go!ファンライドイバラキマチ」HP

③自転車関連イベント

本町の涸沼自然公園において，シクロクロスの競技大会が開催されている。シクロクロスは，大自然の地形を生かして障害物等が設置された未舗装のコースを走るのが特徴である。

（出典）茨城シクロクロス HP